【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2008-257122(P2008-257122A)
【公開日】平成20年10月23日(2008.10.23)
【年通号数】公開・登録公報2008-042
【出願番号】特願2007-101802(P2007-101802)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　21/26　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　21/26

【手続補正書】
【提出日】平成21年5月22日(2009.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
パルス生成器１６は速度指令部１４からの速度指令１０５に基づき、速度指令１０５に相当するモータ駆動パルス１０６を発生する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６４】
速度偏差検出器１９が出力する速度補正量１０９は速度指令部１４に伝達される。速度指令部１４は速度補正量１０９に応じて現在出力中の速度指令１０５を補正する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６５】
例えば、速度補正量１０９が大きければ、マニュアル操作装置１０が指示しているマニュアル操作速度１０３に対し、実際のステージ５の動作速度が少ないこと示しており、この場合、速度指令部１４は速度指令１０５値を速度補正量１０９に比例した値に変換する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１００
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１００】
例えば、急峻な応答を好むオペレータは初動補正器２２のロストモーション量１１２に対する初動速度補正量１１０が基準より高めになるように設定し、速度偏差補正器のマニュアル操作速度１０３と制御対象物現在速度１０８との偏差に対する速度補正量１０９を

基準より高めに設定することで、マニュアル操作開始直後にステージ５が急峻に動作し、しかも少しのマニュアル操作量でステージ５を高速に動かす状態にすることが可能となる。